

様式第 1 号

令和 4 年 6 月 24 日

東京都知事
小池 百合子 殿

〔設置者の名称〕 学校法人高山学園

〔代表者の役職〕 理事長 〔代表者の氏名〕 高山 輝久

大学等における修学の支援に関する法律第 7 条第 1 項の確認に係る申請書

○申請者に関する情報

大学等の名称	高山美容専門学校
大学等の種類 (いずれかに○を付すこと)	(大学・短期大学・高等専門学校・ 専門学校)
大学等の所在地	新宿区市谷本村町 2-31
学長又は校長の氏名	高山 輝久
設置者の名称	学校法人高山学園
設置者の主たる事務所の所在地	新宿区市谷本村町 2-31
設置者の代表者の氏名	高山 輝久
申請書を公表する予定のホームページアドレス	https://www.takayama.ac.jp/summary/

※ 以下のいずれかの□にレ点 (☑) を付けて下さい。

確認申請

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 1 項に基づき確認申請書を提出します。

更新確認申請書の提出

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 3 項に基づき更新確認申請書を提出します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての□にレ点 (☑) を付けて下さい。

この申請書 (添付書類を含む。) の記載内容は、事実と相違ありません。

確認を受けた大学等は、大学等における修学の支援に関する法律 (以下「大学等修学支援法」という。) に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知しています。

大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

- この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を取り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるとともに、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。
- 申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第7条第2項第3号及び第4号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第1号	事務局 水野啓輔	03-3268-1341	mizuno@takayama.ac.jp
第2号の1	教務部 山崎綾子	03-3268-1341	yamazaki@takayama.ac.jp
第2号の2	事務局 水野啓輔	03-3268-1341	mizuno@takayama.ac.jp
第2号の3	教務部 丹羽宗次	03-3268-1341	niwa@takayama.ac.jp
第2号の4	事務局 水野啓輔	03-3268-1341	mizuno@takayama.ac.jp

○添付書類

※ 以下の事項を必ず確認し、必要な書類の□にレ点 () を付けた上で、これらの書類を添付してください。(設置者の法人類型ごとに添付する資料が異なることに注意してください。)

「(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

- 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》

「(2)①学外者である理事の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の設置者の理事（役員）名簿

「(3)②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「(4)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

- 客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》【再掲】

その他

- 《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料
- 確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

(添付書類) 経営要件を満たすことを示す資料

学校名	高山美容専門学校
設置者名	学校法人高山学園

I 直前3年度の決算の事業活動収支計算書における「経常収支差額」の状況

	経常収入(A)	経常支出(B)	差額(A)-(B)
申請前年度の決算	217,559,198 円	239,578,199 円	▲22,019,001 円
申請2年度前の決算	148,413,780 円	195,939,629 円	▲47,525,849 円
申請3年度前の決算	129,763,384 円	193,202,339 円	▲63,438,955 円

II 直前の決算の貸借対照表における「運用資産-外部負債」の状況

	運用資産(C)	外部負債(D)	差額(C)-(D)
申請前年度の決算	252,748,786 円	31,746,423 円	221,002,363 円

III 申請校の直近3年度の収容定員充足率の状況

	収容定員(E)	在学生等の数(F)	収容定員充足率 (F)/(E)
今年度(申請年度)	240 人	204 人	85%
前年度	240 人	182 人	75%
前々年度	240 人	127 人	52%

(IIの補足資料)「運用資産」又は「外部負債」として計上した勘定科目一覧

○「運用資産」に計上した勘定科目

勘定科目の 名称	資産の内容	申請前年度の決算に おける金額
現金預金		142,898,205 円
有価証券		109,850,581 円
		円

○「外部負債」に計上した勘定科目

勘定科目の 名称	負債の内容	申請前年度の決算に おける金額
未払金	退職金等	31,746,423 円
		円
		円

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	高山美容専門学校
設置者名	学校法人高山学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	美容科	夜・通信	1,699	80時間×2 160時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて授業科目一覧を公開。授業科目一覧の中で、教員の実務経験に関するチェック欄あり。(掲載 <https://www.takayama.ac.jp/summary/>)

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	高山美容専門学校
設置者名	学校法人高山学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて理事名簿を公開している。
掲載 <https://www.takayama.ac.jp/summary/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	美容室 経営者	2019. 4. 1～ 2023. 3. 31	法人運営、決算等の監督、助言
非常勤	美容室 経営者	2019. 4. 1～ 2023. 3. 31	業界、教育内容に関する専門的知見
非常勤	美容室 役員	2019. 4. 1～ 2023. 3. 31	法人運営、決算等の監督、助言
非常勤	化粧品メーカー 社長	2019. 4. 1～ 2023. 3. 31	組織運営体制のチェック機能等
非常勤	元美容学校副校長	2019. 4. 1～ 2023. 3. 31	教育内容、学科編成に対する専門的な知見
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	高山美容専門学校
設置者名	学校法人高山学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>美容専門課程 専門科 昼間部 2 年制</p> <p>【作成について】</p> <p>各授業科目については 12 月ごろから前年度のシラバスをもとに、授業科目の設定と確認、及び授業の見直しを考慮し原案を作成、2 月に学内の会議にて検討し決定する。</p> <p>上記をもとに授業科目、必要時間、担当教員、授業計画等の基準を記載したシラバスを 3 月下旬までに作成を行っている。</p> <p>【時期について】</p> <p>上記によって作成されたシラバスを最終確認、及び修正を加え入学式までにシラバスとして公開準備を行う。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>掲載</p> <p>https://www.takayama.ac.jp/summary/</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学則に従って、成績評価、進級、卒業の認定を規定している。 ・成績評価は各学期各教科により認定試験を行い評価している ・成績については、定期学科試験において 60 点以上を合格とし、定期実技試験においては 70 点以上を合格とし履修が認定される。合格点以下の学生には補講を行う。 ・平素の成績を評価し、かつ試験の成績及び校内大会の成績など、卒業認定に関わる評価を基に認定する。 ・各学期ごとに成績及び出席状況を保護者に郵送通知する。 <p>(参考)以下学則の一部</p> <p>第 18 条 本校所定の全課程を終了したと認定された者には、卒業証書を授与する。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>・学業成績 学科試験は年4回定期試験を実施 各教科ごと100点を満点とする試験であり、60点を合格とする。</p> <p>・実技成績 実技試験は年4回定期試験を実施 100点を満点とする試験であり、70点を合格とする。 その他随時適切な時点で達成度を確かめるための試験を実施。試験内容や方法は科目で内容が異なるが、いずれも達成度は数値で表現される。</p> <p>・実技評価 100点法とA(優)、B(良)、C(可)、D(不可)ランクにより、その素点を評価点とする A(優)－80点以上、B(良)－75点以上、C(可)－70点以上、D(不可)－59点以下</p> <p>・出席状況は所定授業出席時間を満たしていない場合は補講にて補う。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>掲載 https://www.takayama.ac.jp/summary/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>・各年次に修得すべき科目を履修し、単位を修得したものは進級とする。ただし単位未認定科目がある場合は、所定の条件を満たしたものに限り年度内に補講及び進級認定の再試験を受け、単位を修得したものは進級とする。</p> <p>・単位が不足している者に対しては、やむおえない事情と判断した場合は進級及び卒業延期、または補講処置を決定する。</p> <p>・本校で定めるところの卒業に必要な科目を全て履修し、かつその単位の履修した者は卒業とする。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>掲載 https://www.takayama.ac.jp/summary/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	高山美容専門学校
設置者名	学校法人高山学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	毎年6月上旬に最新情報をHPに公開している https://www.takayama.ac.jp/summary/
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
衛生		美容 専門課程	美容科 (2年制)	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼	2,010 単位時間/単位	775 時間	単位時間/ 単位	1,529 時間	単位時間/ 単位
			単位時間/単位			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
240人		204人	0人	13人	11人	24人

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】 の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】 の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】 の4.を参照
学修支援等
(概要)各教科とも授業の進度に応じ適宜授業中に小テストを実施している。 選択制の学科授業を行い、不得意科目の学 習支援を行っている。 国家試験前には全ての教科をまとめた小テストを実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
68人 (100%)	0人 (0%)	63人 (92.6%)	5人 (7.4%)
(主な就職、業界等) 美容室(主に一都三県)アリストサロン、ネイルサロン、ブライダルサロン、エステサロン、美容部員等 (化粧品販売等)の美容業界			
(就職指導内容) 外部就職セミナー、就職フェア参加、校内企業がインターンシップ、サロン実習、個人カウンセリング等			

<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>美容師国家資格、ネイル技能検定、まつ毛エクステンション認定試験、ヘアケアマイスタープライマリーコース、色彩技能パーソナルカラー検定</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
182人	18人	9.8%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>経済的(奨学金貸与者等)理由による就学継続困難、進路変更、体調等で就学継続困難</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>担任、副担任による個人カウンセリング、学業成績を常に把握し就学継続の不安を取り除いている。進路変更希望者は保護者も含め三者面談を実施</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
昼間部 美容科 (2年生)	120,000 円	480,000 円	767,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校 HP に公開している https://www.takayama.ac.jp/summary/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者として、関連する企業また卒業などを含む学校関係者評価委員会を組織し、それぞれの立場より知見を活かした教育内容、学校運営等に伴う評価を実施。評価内容に関しては理事会、評議委員会、学校評価委員会等で報告し、出た課題について次年度以降の修正や改善に取り組んでいきます。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
IT 会社 社員	2019.4.1～ 2023.3.31	企業
美容業 副社長	2019.4.1～ 2023.3.31	企業
美容業 代表取締役社長	2019.4.1～ 2023.3.31	企業
フリーカメラマン	2019.4.1～ 2023.3.31	個人
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校 HP に公開している		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.takayama.ac.jp/summary/
--